

LED 節電試算し見える化

東神電気 スマホ用アプリ提供

LED（発光ダイオード）照明を製造する東神電気（大阪市淀川区、寺岡龍彦社長）は、このほど、従来の蛍光灯をLED蛍

光灯に交換した場合の節電効果を簡単に算出できるスマートフォン用アプリケーション「LED照明節電シミュレーター・節電計画」を公開した。「iPhone」および「Android」を搭載したスマートフォンで使用可能。現在使用している蛍光灯のワット数や本数、使用時間などを打ち込むだけで、LED蛍光灯に交換した場合の電

気料金や二酸化炭素（CO₂）排出量の削減効果を「見える化」できる。同社はすでに、ホームページ上で節電シミュレーターを公開しているが、「一般の人にも幅広くLEDの節電効果を知ってもらいたい」（新商材開発部）との考えから、スマートフォン用のアプリケーションを企画。オフィスや家庭などで幅広く使ってもらうため、数

字を打ち込むだけでなく誰でも簡単に操作できるアプリケーションを無料で提供開始した。

スマートフォン用シミュレーターでは、現在使用している蛍光灯のタイプと使用本数、一日の使用時間、一週間の使用日数を打ち込み、契約している電力会社を選択する。蛍光灯の種類は東神電気の製品のほか、他社製品にも対応できる。

アプリが運営するダウンロードサービス「APP Store」や、「Android」において、「LED照明節電シミュレーター・節電計画」で検索すれば、無料でアプリケーションをダウンロードできる。

同社は今後、LED照明に交換した場合の投資コスト回収年数も「見える化」するなど、節電シミュレーターをバージョンアップしていく計画。省エネルギー・節電効果を分かりやすく数値化すること、LED照明の導入促進や省エネ意識の喚起につなげたい考え。



スマートフォンを使って、節電効果を手軽に「見える化」する

2011年9月29日（木）
電気新聞にて